

教育特集

教育現場の現状と将来

- ①設立年月日
- ②卒業生数、在校生数
- ③カリキュラム
- ④教育方針
- ⑤この1年間の自校の変化
- ⑥昨年度就職状況、今年度就職展望
- ⑦今後の教育展望

多様性によって働き方から学ぶスタイルにまで、様々な変化が起きている。

溢れる情報を判断できる知識や学びが必要だが、学ぶ前に簡単に儲けられる社会において、学びたくなる魅力あふれる業界でなければ、次世代の若者はそこに希望を抱かない。

特に専門知識の多い業界では、専門教育機関の果たす役割は大きい。業界人による継続した学びも必要になってきている。

業界関連の教育機関に、現在の状況、変化への対応、そして今後の見通しを聞いた。

東京眼鏡専門学校

実践的な眼鏡技術者を養成



①昭和43年4月、平成12年に日本眼鏡専門学校と早稲田眼鏡専門学校が合併して開校。平成16年に校名を東京眼鏡専門学校に変更。

②卒業生6973人(全日制4103人、通信教育2778人、ケチャム通信92人)。在校生248人。

③英会話、心理学、人体のしくみ、光学入門、光サイエンス、眼鏡光学、光学機器、眼科学、薬理学、眼のしくみ、屈折測定論、両目視機能検査、眼鏡製作・調整、フィッティング実習、コンタクトレンズ、流通論概論、眼鏡店経営、眼鏡店マネジメント、メガネとファッション、カラーコーディネート、人間工学、プロダクトデザインの基礎、手作りメガネ工房、学内実習、学外学習など。

④実践的な眼鏡技術者・眼鏡店経営能力者の育成と人格面での形成を目指す。

▽3年制カリキュラムと少人数制の

一般社団法人日本メガネ協会(日メ協)は、12月12日に「2023年度総会」をオンライン方式で開催。社員総数1037名中、572名(本人108名、委任464名)が出席し、欠席が1名となり、第1号議案から第5号議案まで審議し、全て議案通り承認された。



オンラインで総会を開催 日本メガネ協会

第3号議案の「2024年度事業計画案」の基本計画は、①眼科医との連携の強化を具体的に推進する(6月10日「子供の目の日」、10月10日「メガネの日」での協賛、「推奨店制度」の実現)。

②生活者に対して、会員、有資格者のPR活動を開始する(具体策の推進、ホームページでの情報提供強化と充実(会員情報、メガネ関連情報等)。

③会員数の拡大と会員の継続的なレベルアップ(リカレント教育の多様化と充実、プライム会員制度の開始(2025年1開催)と、会員のモチベーションアップを目指す)。

④委員会活動、理事会活動の充実(個別課題の解決を迅速に対応する。業界を代表する団体として、業界と携わる人々の地位向上と、業界の発展を目指す)。

会員の募集は全てオンライン。会費は眼鏡作製技能士会員7,000円、小売店会員5,000円(店舗数・団体割引あり)、賛助会員の個人5,000円、法人50,000円。

リカレント教育支援委員会は、10月10日のIOFT会場にて開催の特別セミナーを11月15日よりWEBで公開し、来年の2月14日に終了する。2024年の9月までに計3回以上のプログラムの公開を予定している。

眼鏡公正取引業協議会委員会は、ステッカーの作成を引き続き検討。一般消費者及び消費相談センターからの

請に基づき、大規模災害時用メガネとして、近視用メガネ1,000本、老眼鏡500本、遮光眼鏡30本を2024年3月に、関西地区へ備蓄を行う。なお、東京地区は2023年3月に備蓄済み。日眼連がPLハンドブックを作成し、加盟40社が活用していたが、在庫が切れたので、メガネ協会に相応しい形を検討するため、眼鏡消費保全分科会を立ち上げた。

今回、新理事として6名の増員があった。落合信裕氏(兼落合天弘堂、代表取締役)、佐々昌俊氏(兼愛眼、代表取締役社長)、田中亮氏(兼ジズ、代表取締役社長)、長江亜矢氏(兼メルアップ(リカレント教育の多様化と充実、プライム会員制度の開始(2025年1開催)と、会員のモチベーションアップを目指す)。

(一社)日本メガネ協会(日メ協)は2022年10月4日に発足し、(公社)日本眼鏡技術者協会の第1期生の国家検定「眼鏡作製技能士」の合格発表が行われた11月16日以降、眼鏡作製技能士会員、小売店会員、さらに賛助会員の募集を精力的に開始致した。その後、日メ協内の組織作りに着手し、2023年4月18日に臨時社員総会を開催し、理事の増員、監事の選任などを

経て、同日に開催した理事会で、常務理事の選任と常任理事会の設置及び常任理事会が管轄する各委員会が設置された。その後も、日メ協の実質的な事業を担う委員会や役員を充実させ、リカレント教育の実施、会員名をHPに掲載等を行ってきた。

相談の受付業務は継続。メガネ関連団体協議会委員会は、日本眼科医会の要

子供の目の健康を守る出張授業を Zoffが兵庫県の小学校で実施



メガネブランド「Zoff」は、コロナ禍による子どもたちのデジタルデバイス接触時間の増加を受け、子どもたちの目の健康をサポートするために、目の仕組みや目の健康について考えるプログラム「メガネのZoff出張授業」を、10月19日、兵庫県西宮市立深津小学校で実施した。参加者は3年生と4年生の児童237名。

コロナ禍によるデジタルシフトの加速を受け、子どもたちのデジタルデバイスへの接触時間が全体的に増加し、子どもの目に対する親の意識は高いにも関わらず、子どもの目のケアを十分行っていないという現状だ。

Zoffは目に関する知識を活かした授業を行い、より多くの子どもたちを楽しみながら学んでもらうことで、子ども

ちが日常生活の中で“目の健康”や“タブレットなどのデジ

ルデバイスの適切な使い方”について考えるきっかけになることを目指している。

「メガネのZoff出張授業」の内容は、普段子どもたちがあまり意識をしていない「目」に対して、子どもたちと一緒に自分たちの目を大切にし、健康を維持することを考えるプログラムとなっている。目の健康に関するクイズを通して子どもたちと目のことを楽しく学び知ることを目指した。

学校側からの、タブレットなどデジタルデバイスの正しい使用方法を伝えて欲しいなどの要望を授業内容に反映し、学校にとっても納得感のある内容にした。また、児童たちに対して単に情報を伝えるだけでなく、クイズを通じて楽しみながら目の健康に関する情報を得る機会となり、興味深く積極的に参加する姿が見受けられた。

今後もZoffは、子どもたちが日常生活の中で、目の健康やデジタルデバイス

コンタクトは低年齢化 HOYAが実態調査 アイシティは50周年迎える



HOYA(株)アイケアカンパニー(東京都中野区)が事業展開するコンタクトレンズ専門店「アイシティ」は、今年で創業50周年を迎える。

1973年の創業より、「アイシティ」は顧客の目の健康を第一に、コンタクトレンズの販売を通じ、多くの人のコンタクトライフをサポートしてきた。節目となるこの度、次世代を担う子どもたちの目の健康を守り続けたいという想いのもと、小中学生を中心とした

コンタクト利用状況の実態調査を実施した。調査の結果としては、近年コンタクトデビューは低年齢化が進み、かつ

コンタクトレンズを利用する子どもたちの多くが、コンタクトレンズの利用によって、より自分に自信がもてるようになった。明るくなった、活発になったなど、ポジティブな心境変化が見られることが明らかになった。

詳細は、watch-jewelry-online.comで確認できる。



顧客自身のアバターを活用した 仮想試着サービスを開始

アイウェアブランド『FACTORY900』を手掛ける青山眼鏡(株)と、カーンツァイスビジョンジャパン(株)は、顔のアバターを作成し画面上でフレームを仮想試着できるサービス「ZEISS Virtual Try-on」、および自宅でスマホやタブレットを使いフレームを仮想試着できるサービス「ZEISS Virtual Try-on @Home」の提供を12月9日より開始した。

「ZEISS Virtual Try-on」は、カーンツァイス社の最新測定器「ZEISS VISUFIT 1000」にて撮影生成した顔のアバターを利用し、フレームの3Dデータを重ね合わせることで可能になる仮想試着機能だ。実際のサイズ感でリアルな着用イメージを画面上で確認でき、顔の向きも変更できるため鏡では見えにくい横顔をチェックできたり、カラーレンズ装着時の雰囲気を確認できるなど、これまでになく新しい試着体験となる。

ISPOで総合最優秀賞受賞

七色に輝く高機能ゴム素材「AURORA」



医療機器と特殊ラバー素材メーカーの山本化学工業(株)(大阪府、山本富造社長)は、地上と水中で光の

当たり方によってグラデーション状に色が変わる高機能新素材「AURORA」を発表。

その革新性と卓越性が認められ、世界最大級のスポーツとアウトドア用品

の展示会「ISPO」(11月28日～30日ドイツ・ミュンヘン)の新素材選考会において、世界中から400を超えるエントリーの中、総合1位の栄誉“Overall Best Product”を受賞した。

高機能ゴム素材「AURORA」は、保温性や柔軟性、防水性に優れ、ウェットスーツだけでなくアパレル、エンタメ等様々な市場において、見ているだけで楽しくなるような魅力溢れる製品展開が可能となり、バッグやアクセサリー、アウトドア用品、テマーパーク等、様々な応用が期待される。

不況で暗いニュースが溢れる世界を明るく照らしたいと生まれたAURORAは、製品を使用する人だけでなく、見ている周りの人の気分まで高揚す

るような製品に活用してほしいと山本化学工業は考えている。変化するのは色はwatchjewelry-online.comで確認できる。



パーツジュエリーの価値あるポイントです。

一般社団法人 日本金銀宝石協会 登録店
石福ジュエリーパーツ株式会社
ISHIFUKU JEWELRY PARTS CO., LTD.
〒110-0005 東京都台東区上野5-2-26 御徒町みきビル
TEL 03(3832)5241 FAX 03(3833)2063

さらに使いやすいリニューアル!

レーザー溶接機 FIXER

①あらゆる加工に対応! 160Jにパワーアップ!
②作業しやすいライカのスコップを標準装備
③修理・メンテナンス 工賃が5年間無料!

本社・甲府共にショールームにて実機をご覧いただけます!
TEL 03-3704-3044
株式会社 田邊研電 (本社) 甲府県厚木市1-9-14
甲府 甲府市上石田4-17-1F
https://www.tanabekenden.co.jp/

目指す資格は「眼鏡作製技能士」!

【眼鏡技術者への第一歩は全日制で】
●第一眼鏡学科(高校卒) = 3年制
●第二眼鏡学科(短大・大卒) = 2年制

【社員のレベルアップは通信教育で】
春コース(4月開講) = 2年制
秋コース(10月開講) = 2年制
通信教育科目履修制度スタートします。
詳細はHPよりご確認ください。

学生募集中!

学校法人 東京眼鏡学園(東京都認可専修学校)
東京眼鏡専門学校
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-26-10
TEL.(03)3360-7046 FAX.(03)3360-7143
http://www.toc.ac.jp

宝石の鑑定・鑑別

DIAMOND GRADING LABORATORY

ダイヤモンドラボ

東京 TEL.03(3832)2432 FAX.03(3832)2439
名古屋 TEL.052(732)0580 FAX.052(732)0622
大阪 TEL.06(6253)1436 FAX.06(6253)1430
福岡 TEL.092(414)6065 FAX.092(413)7717

信頼と輝きを永遠に

Higasa

宝石・貴金属・輸入加工卸
八重洲株式会社
東京都中央区八重洲2-5-9
TEL.03-3274-3021
FAX.03-3274-3026